

登録コード	TSG48600		開講年度	2026			
授業科目	CMOSアナログ集積回路設計演習					担当教員	宮地 幸祐
英文授業名	CMOS Analog Integrated Circuit Design Tutorial 2					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	電気電子工学分野2年生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					・集積回路分野の自身の専門研究とは異なる内容の先端研究論文を読み、内容、意義を読み取り、適切な批判ができるようになる	
(2)授業の概要	集積回路工学の基礎知識について輪講形式で演習を行い、修士論文における先端技術の研究に役立てる。最新の論文を読みこなす能力を身につける、修士研究の基礎知識を蓄えることに加えて、自分の考えを発表する能力も涵養することを目指す。 このため、学術雑誌から最新の英文研究論文を選び、翻訳・要約・解説・評価を行い、その内容を発表する。自身の研究に直接しない内容についても取り上げる。						
(3)授業計画	研究室において自身の研究分野に関するCMOSアナログ集積回路論文を講読し、内容を他の学生に説明する輪講形式の演習を行う。 題材としては、随時最新の学術雑誌などに掲載されているものを用いる。						
(4)成績評価の方法	演習への参加態度や発表内容・質疑応答から関連論文を十分読みこなせるとに主眼を置いて評価する。						
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	ポイントを押さえ、技術の発展経緯をつかんでおけるほど事前に日頃大量の文献（最低でも40件以上の文献にあたり、その中から重要なものを選ぶこと）を読み込み、整理しておく。						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	研究室において随時対応する。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						